鍋林建工株式会社

環境経営レポート

（対象期間:2022年4月1日～2023年3月31日）

2022年度版

2023年7月1日発行
鍋林建工株式会社
代表取締役社長　　倉科　明

目　次

	項目		頁
1	事業活動の概要	・・・・・・	1
	(1)事業者名及び代表者名　(2)所在地		
	(3)環境管理責任者及び担当者、連絡先		
	(4)事業内容　(5)事業の規模　(6)EA21対象範囲		
	(7)実施体制図		
2	環境経営方針	・・・・・・	2
3	アクセス	・・・・・・	3
4	主な環境負荷の実績	・・・・・・	4
5	環境経営目標	・・・・・・	5
	＊単年度及び中・長期の目標		
6	環境経営計画	・・・・・・	6
	＊環境経営計画と主な取組		
7	環境活動の取組結果と評価		
	(1)環境経営目標の実績とその評価、並びに次年度の目標	・・・・・・	7
	(2)環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の計画	・・・・・・	8
	(3)環境管理責任者の評価	・・・・・・	9
	(4)代表者の評価	・・・・・・	9
8	環境関連法規制と遵守状況	・・・・・・	9

1. 事業活動の概要

(1)事業者名及び代表者名

鍋林建工株式会社

代表取締役社長　倉科　明　　設立　昭和53年4月5日

(2)所在地

(本社・松本営業所)　　(長野営業所)

〒390-0851　長野県松本市大字島内3501-1　〒380-0913　長野県長野市川合新田字村西956-1

(新潟営業所)

〒950-0923　新潟県新潟市中央区姥ケ山2-19-12

(3)環境管理責任者及び担当者、連絡先

環境管理責任者　：　取締役総務部長　百瀬　登　　事務局　：　横内　秀明

長野営業所　：　所長　鈴木　雄一　　新潟営業所　：　泉田　まりな

本社・松本営業所連絡先　電話:0263－48－3501　ファックス:0263－48－3502

長野営業所連絡先　電話:026－221－0232　ファックス:026－221－5045

新潟営業所連絡先　電話:025－286－1841　ファックス:025－286－1842

(4)事業内容

建設業

(一般住宅設計施工、防水工事、左官工事、鋼構造物工事、塗装工事、とび・土工工事、解体工事)

(5)事業の規模

資本金　2,000万円

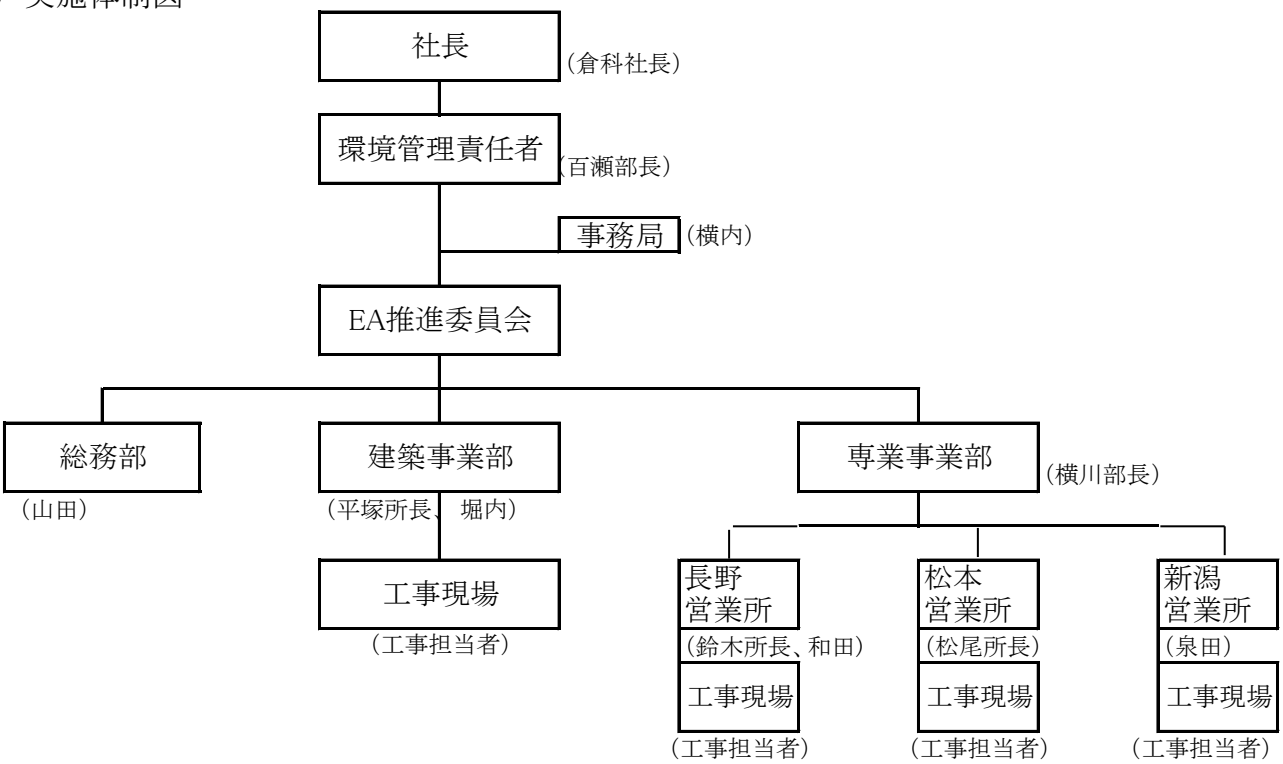
従業員　　28名

延べ床面積　1,566　㎡

(本社:事務所725㎡　倉庫297㎡　長野:事務所111㎡　倉庫223㎡　新潟:事務所89㎡　倉庫121㎡)

(6) EA21対象範囲　　本社・松本営業所、長野営業所、新潟営業所、建設現場

(7) 実施体制図



2.　環境経営方針

鍋林建工株式会社は事業活動及び製品・サービスを通じて、地域環境の保全、自然との調和と共生を実現する為に、下記の通り事業活動における環境負荷低減を常に意識し、継続的維持可能な循環型社会に組織が自主的かつ積極的に取り組みます。

行動指針

1. 環境マネジメントを理解し、PDCAサイクルにより継続的改善をしていく。

2. 環境関連法規を遵守する。

3. 環境負荷軽減をしていく。

①二酸化炭素排出量の削減

②化学物質の低減とグリーン調達の推進

③廃棄物と水資源使用の削減とリサイクル活用の推進

④省エネでエコな建築工法の推進

環境経営方針と行動指針を全社員に周知し実施する。
我々のこの取り組みが利害関係者へ波及していくことを願っている。

令和2年4月1日
鍋林建工株式会社
代表取締役社長　倉科　明

3. アクセス

本社アクセスマップ

本社【建築事業部・専業事業部】

- 所在地： 〒390-0851
  長野県松本市大字島内3501-1
- ＴＥＬ： 0263-48-3501（代）
- ＦＡＸ： 0263-48-3502

長野営業所アクセスマップ

長野営業所【建築事業部・専業事業部】

- 所在地： 〒380-0913
  長野県長野市川合新田字村西956-1
- ＴＥＬ： 026-221-0232
- ＦＡＸ： 026-221-5045

新潟営業所アクセスマップ

新潟営業所【専業事業部】

- 所在地： 〒950-0923
  新潟県新潟市姥ヶ山2-19-12
- ＴＥＬ： 025-286-1841
- ＦＡＸ： 025-286-1842

4. 主な環境負荷の実績

※各事務所合計実績及び現場実績の集計（会社全体）

項目		単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績
二酸化炭素排出量		kg－CO2／年	118,311	114,753	125,255
	電力	kwh／年	41,813	34,437	35,013
	ガソリン	l／年	36,595	36,748	38,193
	灯油	l／年	5,592	5,716	5,790
廃棄物排出量		t／年	113.8	113.9	281.7
水使用量		m^3／年	250	252	312
省エネ関連工事の受注		件数／年	10	17	12
OA紙使用量		枚数／年	212,500	174,000	185,500
グリーン購入 水溶性塗料		セット／年	6	15	14
地域活動		周辺清掃回数/年	13	15	15

注：事業年度＝4月～3月

事務所、現場等当社が関係し、集計可能なデータをすべて引用しました。

電力の二酸化炭素排出量算定、調整後排出係数：中部電力0.377kg-CO2/kwh　東北電力0.457kg-CO2/kwh

令和3年度実績（R5.1.24環境省・経済産業省公表）

5. 環境経営目標

＊単年度及び中・長期の目標

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度
		年度目標	年度目標	年度目標	年度目標	年度目標
		（前年目標から1.36％削減）				（2019年から15.3％削減）
二酸化炭素排出量	kg－CO2／年	104,762	103,337	101,931	100,544	92,456
電力	kwh／年	31,820	31,387	30,960	30,538	
ガソリン	ℓ／年	34,621	34,150	33,685	33,226	
灯油	ℓ／年	3,812	3,760	3,708	3,657	
廃棄物排出量	トン／年	96.0	94.0	92.0	90.0	
水使用量	㎥／年	241	237	233	229	
省エネ関連工事	件数／年	（対前年1件増加）18	（対前年1件増加）19	（対前年1件増加）20	（対前年1件増加）21	
OA紙使用量	枚数／年	212,000	209,000	206,000	203,000	
グリーン購入（水溶性塗料）	購入数セット／年	（対前年1件増加）16	（対前年1件増加）15	（対前年1件増加）16	（対前年1件増加）17	
地域活動	周辺清掃回数／年	18	19	20	21	

＊2030年度目標は、長野県SDGs推進企業登録目標のため、CO2削減目標のみ表示します。
＊目標は、基準を統一するため、事務所の数値とします。
＊2023年度以降の対前年増加目標値は、2022年実績に基づいています。

6. 環境経営計画

＊環境経営計画と主な取組

項目		2021年度活動計画	主な取組
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・エアコンの温度設定（事務所:冷房　28℃、暖房20℃、現場事務所:冷房　26℃、暖房　20℃） ・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF ・昼休みの60分間消灯 ・未使用換気扇電源OFF	こまめな温度管理 啓蒙活動 継続実施 〃
	ガソリン使用量削減	・アイドリングストップ（エコドライブ10の実施） ・積載オーバー、不要な荷物は積まない ・月報距離、給油量を記録する	再徹底を行う 責任者による定期点検 点検時実施
	灯油使用量削減	・暖房温度管理　20℃ ・時間外事務所使用の短縮	エアコンとの効率的併用 時間外使用を抑える
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進 ・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼 ・分別徹底とリサイクル（特に古紙、缶ﾋﾞﾝ）	分別強化、特に塗料の廃棄時の扱い徹底強化 担当者が関連作業員へ指導強化 再生紙排出量を増やす
	一般廃棄物排出量削減	・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導 ・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減 ・社内文書の電子化	分別強化 社内資料の削減 文書管理方法の検討
水使用量の削減		・水道水の出し過ぎない、止水確認 ・洗い物はまとめて洗う	社員の意識づけ強化 〃
グリーン商品の購入推進		・グリーン商品を優先して使用する ・従業員に周知する	グリーン材料工事の提案 責任者を決める
OA紙使用量削減		・コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底 ・会議のPJ利用、電子媒体の利用	啓蒙活動 会議方法の提案
省エネ関連工事の受注		・エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動 ・グループ会社の会報を通じてPRする	多方面の省エネ提案 会報の利用継続
地域活動		・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	独自の活動を模索する

7. 環境活動の取組結果と評価

※各事務所合計目標及び各事務所合計実績集計（現場実績は含まず事務所のみ）

(1)環境経営目標の実績とその評価、並びに次年度の目標

取組項目	2022年度目標	2022年度実績	達成率	評価	2023年度目標
二酸化炭素排出量削減 (kg-Co2/年)	104,762	111,513	93.6%	×	2022年目標1.36%削減 103,337
電力使用量削減 (kwh/年)	31,820	33,321	95.3%	△	2022年目標1.36%削減 31,387
ガソリン使用量削減 (ℓ/年)	34,621	37,907	90.5%	×	2022年目標1.36%削減 34,150
灯油使用量削減 (ℓ/年)	3,812	5,334	60.1%	×	2022年目標1.36%削減 3,760
廃棄物排出量削減 (t/年)	96.0	85.0	111.5%	◎	2022年目標1.36%削減 94.0
水使用量の削減 (m3/年)	241	312	70.5%	×	2022年目標1.36%削減 237
OA紙使用量削減 (枚数/年)	212,000	185,500	112.5%	◎	2022年目標1.36%削減 209,116
省エネ関連工事の受注 (件数/年)	18	12	66.7%	×	対前年＋1件 17
グリーン購入（水性塗料）ケミクリートEP、AU（水溶性）購入セット（セット数/年）	16	14	87.5%	×	対前年＋1件 15
地域活動					
事業所周辺の定期清掃（回数/年）	18	15	83.3%	×	18

評価：110%以上◎、100%以上○、95%以上△、95%未満×

目標、実績は、事務所のみ集計しているため、4頁（4. 主な環境負荷の実績）の数値とは異なります。

電力の二酸化炭素排出量算定、調整後排出係数：中部電力0.424kg-CO2/kwh　東北電力0.521kg-CO2/kwh

令和3年度実績（R5.1.24環境省・経済産業省公表）

(2)環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の計画

項目		活動計画の内容	実績・取組結果	評　価	次年度の活動計画
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・エアコンの温度設定（事務所：冷房28℃、暖房20℃、現場事務所：冷房26℃、暖房20℃）	熱中症、労働環境に注意しながら実施	○	・エアコンの温度設定（事務所：冷房28℃暖房20℃、現場事務所：冷房26℃暖房20℃）
		・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF	退社時のPC電源OFF	○	・エアコンの使用時期、時間の短縮
		・昼休みの60分間消灯	毎日実施	○	・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF
		・未使用換気扇電源OFF	毎日実施	－	・昼休みの60分間消灯
	ガソリン使用量削減	・アイドリングストップ（エコドライブ10の実施）	啓蒙のみ	○	・アイドリングストップ（エコドライブ10の実施）
		・積載オーバー、不要な荷物は積まない	啓蒙のみ	○	・積載オーバー、不要な荷物は積まない
		・月報距離、給油量を記録する	毎月実施	○	・月報距離、給油量を記録する
	灯　油使用量削減	・暖房温度管理　20℃	エアコンとの併用	○	・暖房温度管理　20℃
		・時間外事務所使用の短縮	使用時間短縮	○	・時間外事務所使用の短縮
廃棄物排出量削減	産業廃棄物	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	分別強化、塗料の廃棄時の扱い徹底	○	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進
		・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼	担当者が関連作業員へ指導	○	・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼
		・分別徹底とリサイクル（特に古紙、缶ﾋﾞﾝ）	段ボール、OA用紙リサイクル実施	○	・金属類のリサイクル、容器リユース
	一般廃棄物	・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導	周知不足	○	・紙類の分別を強化し、リサイクルを増加させる
		・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	会議資料削減	○	・コピー枚数の削減
		・社内文書の電子化	共有ｻｰﾊﾞｰを強化	○	・社内文書の電子化
水使用量の削減		・水道水の出し過ぎない、止水確認	毎日実施	○	・水道水を出し過ぎない、止水確認
		・洗い物はまとめて洗う	都度実施	○	・水道水を無駄に使用しない
グリーン商品の購入推進		・グリーン商品を優先して使用する	会議で確認	△	・グリーン商品を優先して使用する
		・従業員に周知する	会議で確認	○	・従業員に周知する
OA紙使用量削減		・コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底	裏面印刷増加	○	・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減
		・会議のPJ利用、電子媒体の利用	一部実施	△	・会議のPJ利用、電子媒体の利用
省エネ関連工事の受注		・エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動	多方面の省エネ提案	○	・省資源設備への切り替えの提案
		・グループ会社の会報を通じてPRする	会報かたばみ掲載	○	・グループ会社の会報を通じてPRする
地域活動		・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	計画実施	○	・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃
			外部団体活動参加	△	・上記以外の活動の実施

(3)環境管理責任者の評価

2022年度の売上金額は前年度比110％の実績をあげる事ができた。
事業活動があがれば、どうしても二酸化炭素排出量や廃棄物、水、OAなどは増加してしまうことは、ある面止むを得ない。
この状況のなかで廃棄物排出量、OA使用料は目標を発生することが出来たことは喜ばしい。しかし、目標を大幅に未達となった灯油、水、省エネ関連工事の未達要因をしっかり押さえる事は今後の目標達成に必要である。
来年度の景気動向や営業見通しを考慮しながら、適切な目標設定をし環境活動をしていきたい。

2023年6月23日
百　瀬　　登

(4)代表者の評価

アフターコロナによる経済活動の拡大、増大は、歓迎すべき状況であるが、その反面、環境負荷は増加してしまう。
事業の実績をあげながら、環境保護活動を推進していけるという、EA21に取り組む企業の究極の命題を実現出来るように、技術革新や有益な情報を取り入れながら、目標達成出来る手法確立を日々追求して欲しい。経営者として、その実現ための支援をしていきたい。

2023年6月23日
倉　科　　明

8. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
資源有効利用促進法	分別排出、再生資源化に協力	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵と取扱、届出	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路運送車両法	車両の日常点検、整備記録簿	遵守
道路法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
労働安全衛生法	安全衛生計画を作成、実施する	遵守
毒物及ぶ劇物取扱法	少量劇物の貯蔵と取扱	遵守
フロン排出抑制法	フロン漏えい点検	遵守

(2)違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。